

議会だより おかがき

No.109 9月定例会 平成28年10月25日発行

慎重審議を経て認定！ ● 2～4

平成27年度一般会計・特別会計・公営企業会計決算

町政を問う ● 8～10



平成27年度 一般会計・特別会計・公営企業会計決算



第3回定例会は9月2日から9月15日までの14日間の日程で開催され、平成27年度一般会計決算認定を含む議案16件、諮問1件などについて慎重審議しました。

- | | |
|--------|---|
| 議案第40号 | 岡垣町固定資産評価審査委員会委員の選任について |
| 諮問第1号 | 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて |
| 議案第41号 | 岡垣町ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例 |
| 議案第42号 | 岡垣町空家等対策協議会設置条例の制定について |
| 議案第43号 | 岡垣町海老津駅前広場駐車場条例の制定について |
| 議案第44号 | 専決処分の承認を求めることについて |
| | 平成28年度 岡垣町一般会計補正予算(第2号) |
| 議案第45号 | 平成28年度 岡垣町一般会計補正予算(第3号) |
| 議案第46号 | 平成28年度 岡垣町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号) |
| 議案第47号 | 平成27年度 岡垣町一般会計歳入歳出決算認定について |
| 議案第48号 | 平成27年度 岡垣町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について |
| 議案第49号 | 平成27年度 岡垣町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について |
| 議案第50号 | 平成27年度 岡垣町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について |
| 議案第51号 | 平成27年度 岡垣町水道事業会計利益の処分及び決算認定について |
| 議案第52号 | 平成27年度 岡垣町下水道事業会計利益の処分及び決算認定について |
| 議案第53号 | 岡垣町道路線の認定及び廃止について |
| 議案第54号 | 監査委員の選任について |
| 議案第55号 | 岡垣町地域情報伝達無線システム整備工事(第1期工事)請負契約について |
| 報告第5号 | 平成27年度決算に基づく健全化判断比率等の報告について |
| 報告第6号 | 平成27年度 公益財団法人岡垣サンリーアイ文化スポーツ振興財団決算報告について |



海老津駅前駐車場



危険家屋(撤去済み)



岡垣サンリーアイ



浄水場



平成27年度 岡垣町各会計別決算概要

(単位：円)

区 分		収 入 額	支 出 額	差 引 額	
一 般 会 計		10,574,234,771	10,062,722,196	511,512,575	
特別会計	国民健康保険事業	4,302,999,939	4,348,312,325	△45,312,386	
	後期高齢者医療	540,068,226	528,610,165	11,458,061	
	住宅新築資金等貸付事業	3,596,033	771,378	2,824,655	
企業会計	水道事業	収益的収支	488,753,213	469,823,445	18,929,768
		資本的収支	152,992,480	336,013,771	—
	下水道事業	収益的収支	965,816,089	895,860,504	69,955,585
		資本的収支	577,775,400	825,239,635	—

※企業会計は、税抜きの金額です。資本的収支の不足額は、公営企業に留保している資金で補っています。

審査意見書より（抜粋）

岡垣町は過去から他の地方自治体と比較すると良好な財政状況を保ってきている。しかし、財政構造として自主財源の比率は高いとは言えず、地方交付税や臨時財政対策債、地方消費税交付金、国庫支出金などの依存財源の状況に影響を受けやすい。財政状況は、過去からの財政収支の積み重ねで表されるものであり、計画的な取り組みが重要である。

平成28年度から「第5次総合計画後期基本計画」がスタートし、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる施策も本格化してきている。また、今後、公共施設の維持更新や公債費の増加等も見込まれており、これらの財源確保をしながら進めていく必要がある。

今後の財政運営においても、常に長期的な視点に立ち、引き続き効率的・効果的な事業遂行に徹しつつ、将来の地域活性化に向けた事業展開を図り、良好な財政状況が保たれるように努力されたい。

全員協議会の議題

- ① 国道3号岡垣バイパス4車線化整備促進期成会の設立
- ② 庁舎内における課の配置変更
- ③ 岡垣町議会住民懇談会
- ④ 岡垣町議友会との懇談会



決算議会審議状況（連合審査会：主な質疑内容）

○総括

- ・第5次総合計画前期基本計画最終年の達成状況
- ・定住促進
- ・少子化対策
- ・空き家対策
- ・北斗七星のPR推進
- ・国道3号4車線化
- ・財政状況
- ・社会教育

○総務費

- ・ふるさと納税の状況
- ・職員研修
- ・ボランティアセンターの利用者数
- ・外国語指導助手の状況
- ・情報プラザ人の駅利用者数と収益

○民生費

- ・老人憩の家3施設の維持管理
- ・いこいの里バイオマスボイラーの効果
- ・敬老祝金（プレミアム商品券）

○衛生費

- ・環境公害対策
- ・母子健康づくり支援
- ・街路樹などの落ち葉処理

○農林水産業費

- ・有害鳥獣駆除
- ・町有林の整備状況
- ・企業誘致

○商工費

- ・中心市街地活性化
- ・駅前イルミネーション
- ・観光施設の維持管理
- ・観光協会の物産販売実績
- ・焼酎「岡垣」の状況
- ・消費生活対策

○教育費

- ・小中学校の扇風機の設置効果
- ・適応教室の運営状況

○その他

- ・下水道の老朽化と普及率
- ・国保の広域化
- ・特定検診率
- ・こども未来館の天体観測利用状況

■国道3号岡垣バイパス4車線化の早期実現に向けて

国道3号沿線地域の産業、経済、文化、観光の発展並びに住民生活の向上に寄与することを目的に宗像市・福津市・水巻町・遠賀町の協力を得て、国道3号岡垣バイパス4車線化整備促進期成会が2市3町で発足しました。

議会としても引き続き全力で取り組みます。

未完成の国道3号岡垣バイパス



上 畑



野 間

岡垣町一般会計 決算認定

反対

平山 正法 議員

定住促進対策事業や保育の充実、観光事業をはじめ、三里松原の環境保全の取り組みは評価できる。

妊婦健診、ワクチン接種の継続、子ども医療費の助成制度、児童手当の支給についても評価できるが、さらなる拡充を求める。

しかし、JR海老津駅南側道路等整備事業については、完成間近の今でも多くの町民から疑問視されている。

実質収支額を平成28年度に繰り越すことも大切だが、高齢者支援・子育て支援など、医療・介護・福祉のさらなる充実や町民が安心して暮らせるまちづくりに取り組むことを求めて反対する。

西 美千代 議員

平成27年度決算においては、保育の充実のための取り組みやブックカフェの開設、北斗七星を拠点とした観光事業等を展開されてきた。

人口減少や少子化が危惧されている今、さまざまな施策に取り組まれていると評価する。

しかし、自由通路に関しては、形が見えてきた今でも町民の方から、監視カメラや防犯体制をきちんと整えていかなければならないという意見が聞かれる。

これまで一貫して防犯上大きな不安のある自由通路はつくるべきではないという主張を変えるわけにはいかない。以上の理由により、反対する。



開通間近の海老津白谷線



完成間近の駅南側広場



Book座Cafe (情報プラザ内)



観光ステーション北斗七星



平成27年度 歳入歳出

賛成

神崎 宣昭 議員

平成27年度一般会計決算は歳入歳出ともに100億円を超え過去最大規模となっている。

歳入においては、国庫支出金、地方消費税交付金などは大幅な増収であるが、町税は、前年比544万円の減収となっている。

歳出においては、第5次総合計画前期基本計画の総仕上げの年であり、魅力ある元氣なまちにする取り組みを実行すると同時に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と「第5次総合計画後期基本計画」の策定を行ったこと、多岐にわたるきめ細かな政策を立て公正的確に予算執行し、岡垣町の住み良さブランドを確立したことを高く評価して賛成する。

太田 強 議員

平成27年度一般会計決算の実質収支額4億2420万円は、全額28年度に繰り越された。町税収入は、前年比99.8%で、人口減少社会の到来で厳しい財政状況の中でも効果的、効率的な運営がなされている。

主要施策については、第5次総合計画に掲げられている3つの将来像「自然の恵みを守り、活かし輝くまち」「皆が安全で安心して暮らせるまち」「地域を愛し、心豊かな人が育つまち」の中に重点課題を捉え着実に実行に移されている。限られた財源の中でも国の交付金を活用した農業基盤の整備や英語教育改革イニシアティブ2016の策定などを評価し賛成する。

広渡 輝男 議員

地方創生元年の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を推進する平成27年度一般会計決算は、実質収支4億2420万円の黒字決算である。

主要な財源の固定資産税や住民税は減少する中、財源を確保するため、地方債の9億円余の発行や基金から4億円余を繰り入れ、教育、福祉、農業、住民の生活基盤の成果に対して一定評価する。
平成21年度から取り組んできたJR海老津駅南側道路等整備事業も総事業費24億8300万円で本年中に完成の見込みである。海老津駅南側道路等を活用して、積極的かつ大胆に駅南側開発促進や定住促進対策の着実な実行を求め賛成する。

小野 元次 議員

平成27年度一般会計決算は、歳入歳出ともに100億円を超えている。町の財政力・財政構造などを判断する財政力指数・実質収支比率・経常一般財源比率・経常収支比率において、良好な財政のバランスを保持している。

財政健全化においても実質赤字比率・連結実質赤字比率・実質公債費比率・将来負担比率は、健全な状況である。基金は、約52億6000万余円の積立金があるが、日本は地震国で大災害も予想されている。「安全・安心のまちづくり」は、総合計画の大切な基本である。弾力性ある安定した行財政運営を評価し賛成とする。

曾宮

岡垣町の長期的な課題は

町長

人口減少など3つある



曾宮 良壽 議員

曾宮 岡垣町の底力「経済基盤」について、町長の認識をお尋ねします。

町長 人口減少は地方自治体の経済基盤にも大きく影響します。岡垣町も全国的な人口減少の例外ではなく、現状のまま推移すると人口は3万人を切るどころか2万人を切ることも予測されます。

住みよい居住環境の整備を継続することにより、町の魅力、強みを高めることが非常に重要です。あわせて駅南側の開発に伴う文教施設等の誘致や、中心市街地の区画整理事業などにも取り組み、経済基盤である町税の増収に努めなければなりません。

曾宮 岡垣町の「長期的な課題」について、町長の認識をお尋ねします。

町長 10年先、20年先のまちづくりを見据えると「人口」、「人づくり」、「自然」の3つの課題が浮かびます。

人口では、少子化対策が最も重要であり、ふえ続ける空き家対策、公共施設の統廃合も含めた総合管理に取り組みなければなりません。

人づくりでは、職員力を高めることはもちろんのこと、



高倉びわ

地域づくりを支えるボランティア団体や人材の育成に向けて、生涯学習や学校教育に継続して取り組まなければなりません。

自然では、岡垣町のまちづくりは一貫して自然との調和を目指したものであるため、その自然環境を守り、次の世代に引き継がなければなりません。特に三里松原の保全と地下水を守る取り組みが非常に重要であると考えています。

市津

10年先を見据えたまちづくりを

町長

今取り組むべき政策を着実に



市津 広海 議員

界が衰退し、町の元気がなくなってくるのが想定されます。

人口10万人の中核都市となりつつある宗像市は、教育施設、宗像大社、沖ノ島、道の駅などたくさんあります。現実的には国があるため、町が潰れることはないと思います。が、今こそ町の10年先を見据えた大胆な発想で政策を実施すべきではありませんか。

町長 これから10年先のまちづくりを考えると人口が減少していくことは、これまで経験したことのない特に重要な課題であると認識しています。

市津 国の予算は、毎年100兆円程で、その内50兆円は国債で運用しています。10年後には国民の貯金が底をついてしまうため、国は大胆な財政措置を断行しており、市町村は大変厳しい状況となり、問答無用の市町村合併も現実化してきます。

また、全国的に人口が減少していることで農業、商工業



金毘羅山からの眺望

す。この人口減少に対応するためには、少子化対策、空き家対策、地域コミュニティの推進などに積極的に取り組むべきと考えます。

平成23年度から取り組んできた駅南側開発事業も本年末までに完成予定となっており、企業誘致等の条件整備が進みました。企業だけでなく、文教施設の誘致や住宅地としての整備など、可能性が大きく高まることが期待できます。

これまで進めてきた自然に囲まれた住みよい居住空間の形成を継続しながら、今取り組むべき政策を一つずつ着実に実行すべきと考えます。

西

資源循環型社会の実現を

町長 慎重に検討していく



西 美千代 議員

西 資源循環型の社会の実現のためには資源の有効利用、ごみ削減などの取り組みが必要です。そこで学校給食を調理するときに出る野菜くずや食べ残しなど、食品廃棄物の再資源化に取り組んでいくところがあります。本町でも取り組む必要があると考えます。

教育長 学校給食において毎日発生する生ごみの減量化を行い、再資源化に取り組むことについては、子どもたちの環境教育を推進するためにも重要であると捉えています。生ごみを堆肥化する方法を学校の規模やそれぞれの摂食数、生ごみの分量などを勘案

して、どの方法が最適であるか研究したいと思います。

西 岡垣町第5次総合計画後期基本計画の中にも、「循環型社会づくりに向けて、ごみの減量化・再資源化を進めます」とあります。町内の事業系ごみの回収についても食品廃棄物の削減に取り組んでほしいと思います。

町長 事業系の食品廃棄物は、通常は燃えるごみとして処理されていますが、北九州市のエコタウンにある民間事



給食センター

木原 北九州圏域での岡垣町は、ベッドタウンとしての役割が重きを占めており、ベッドタウンには定住促進が必要不可欠です。地方創生により、地方自治体に独自の政策が求められている今こそ子育て支援の先進的な取り組みによって、定住促進を図る必要があると考えます。

木原 本年度から安河内哲也氏を英語教育アドバイザーとして迎え、英語教育改革イニシアティブ2016が始まりました。英語教育の現状と今

後のあり方についてお尋ねします。

教育長 聞く・読む・書くの3技能に話すを加えた4技能を意識したものに直すことで、子ども達が真に役立つ英語力を身につけることを目標に、中学生の英語教育改革の取り組みを開始しました。その内容は、音声活動を重視した授業改善、ICT機器の充実と積極的な活用、英語教室の設置、ALTの増員、教科書音声CDの活用、4技能を意識した定期試験の検証の6つの柱で構成しています。今後も、これら岡垣町独自の英語教育改革の内容を検証し、着実なものとなるよう力を注ぎます。

木原

子育て支援で定住促進を

町長

さまざまなニーズに対応していく

業者と連携し、食品リサイクル・ループを形成している事例もあります。コスト面など課題も多いため、慎重に検討する必要があります。

西 岡垣町の高齢化率はついに31%を超えました。認知

症の方やその家族を支える場所として、認知症カフェに取り組み考えはありますか。

町長 認知症カフェに限らず、広い意味での高齢者の居場所づくりとなるような取り組みについて検討していきます。



サンリーアイふれあい広場

平山

投票率向上の取り組みを

町長

魅力的なまちづくりで投票率アップ



平山 正法 議員

になってくるのではないのでしょうか。

町長 私は、特に次代を担うべき若い世代の投票率の低下を危惧しています。若い世代に政治に関心を持ってもらうためには、若い人たちがもっと積極的に立候補するべきであり、そのためには立候補しやすい環境づくりが大切ではないかと思えます。

平山 本年7月の参議院議員選挙は、選挙権年齢が18歳以上に取り下げられ、本町では初めての投票が行われました。全国的な投票率は54.7%となりましたが、投票率は年々低下傾向にあります。投票率の傾向について、町長の見解をお尋ねします。

町長 全国的な投票率の低下傾向の原因については、政治への不信、失望感、社会全体の閉塞感、無関心層の増大などが要因であろうと思いません。

平山 岡垣町の投票率は全国よりも高いものとなりましたが、若者の投票率が低く、投票率を上げる取り組みが必要



平山 岡垣町の選挙では、岡垣町長選挙と岡垣町議会議員選挙がありますが、どちらも

投票率が低下傾向にあります。若者・高齢者の投票率向上のための具体的な対策・施策についてお尋ねします。

町長 私は町政を預かる者として、若者から高齢者まで、みんなが夢を描くことができ、住みたい・住み続けた

いと思ってもらえる、魅力的なまちづくりこそが、投票率アップにつながるものと考えています。これからも、そのようなまちづくりを目指していきます。

小野

岡垣バイパス4車線化の早期実現を

町長

議会と連携して取り組む



小野 元次 議員

小野 国道3号岡垣バイパス4車線化の早期実現に向けた「国道3号岡垣バイパス4車線化整備促進期成会」の設立と活動についてお尋ねします。

町長 地域経済・物流の要である国道3号は、北九州市と福岡市の区間で岡垣バイパスが、唯一の2車線区間となっています。そのため、災害時

のライフラインの確保や事故発生時の旧国道3号の道路渋滞の課題があり、福岡県や近隣市町に4車線化の必要性の認識とご協力をいただき、8月8日に「国道3号岡垣バイパス4車線化整備促進期成会」を設立しました。事業の早期実現のため、県や北九州国道事務所などと協議を重ね、九州地方整備局や国土交通省への要望活動を行っています。議会と連携した要望活動などの取り組みに対する協力をお願いします。

小野 国道3号岡垣バイパス4車線化整備との兼ね合いを



2車線の岡垣バイパス

考え、国道3号岡垣バイパスと国道495号を結ぶ県道の進捗状況についてお尋ねします。

町長 国道3号と国道495号を結ぶ県道、岡垣宗像線山田バイパス整備事業は、平成26年度から着手され、予備設計や詳細設計が一部完了しています。

この県道整備により、国道3号と国道495号が最短でつながり、若松方面と福岡方面との物流の円滑化・効率化が図られます。この事業とあわせて、岡垣バイパスが4車線化されることで広域幹線道路機能が強化され、交通面での利便性の向上と地域のさらなる発展が期待されます。

委員会視察研修・活動レポート

総務産業常任委員会

日時 平成28年8月2日～4日
視察先

島根県邑南町
おおな
おおだ
大田市
鳥取県日南町
にちなん

- 視察の目的
- ・攻めと守りの定住プロジェクト
 - ・定住促進の取り組み
 - ・空き家の活用による移住定住の取り組み

「空き家対策・定住促進」については、全国の自治体が大きな課題として取り組みを進めており、わが町でも、既にさまざまな具体的施策を制度化・予算化して進めているところです。

昨年度は県内先進地と都市部（都内）を、このたびは既に人口減と過疎化が進んでいる山陰の自治体の中から、取り組みを進めている地を選んで研修に臨みました。

どの地方自治体も課題を同じくしているのであれば、解決策も同じで、それは、新たな地方の価値創造を「広域的地域連携」で取り組んで行くべきと感じました。



邑南町



大田市



日南町



湯川災害現場

7月13日の大雨による土砂災害で通行できなくなった町道湯川・内浦線を、委員会では7月15日に現場確認を行いました。その後の復旧作業により9月16日15時から通行止めは解除になりました。



町道認定現場（海老津駅南側）

文教厚生常任委員会

日時 平成28年7月25日～27日
 視察先及び目的 長野県下諏訪町 英語教育
 南箕輪村 子育て支援
 箕輪町 健康づくり

文教厚生常任委員会の今年度の活動テーマは、教育、福祉、環境です。

下諏訪町では小学校1年生から英語教育を行い、聞く・話す能力を伸ばす取り組みについて話を聞きました。

南箕輪村は「子育てしやすい、人口がふえる村」としてマスクミなどを取り上げられており、これまでの取り組みと今後の課題について説明を受けました。

箕輪町は独自の高齢者健康づくりアカデミー教室や健康講座などを実施され、健康寿命を延ばす取り組みをしたことで医療費が減少しています。

今回の視察研修を今後の委員会活動に生かしていきたいと思えます。



下諏訪町



南箕輪村



箕輪町

委員長・副委員長研修会

日時 平成28年7月12日
 場所 福岡県自治会館
 研修の目的
 委員会制度及びその運営について

議会における委員会制度は、現在の地方自治において専門性と効率性の向上を目的として設けられました。多岐にわたる分野を各委員会が分担して審議することが効率的であり、議員としての資質をより高められるからです。

この研修で学んだことを今後も各委員会で生かしていきます。



議会の動き

6月定例議会終了後の本会議・委員会・協議会等についてお知らせします。

日時	委員会等	議 題
6月23日	議会広報	議会だより編集
6月24日	全員協議会	住民懇談会リハーサル
6月30日	住民懇談会	平成28年度予算審議状況説明 各委員会テーマによる説明・意見交換
7月 5日	議会広報	議会だより編集
7月15日	総務産業	湯川崖崩れ現地視察
7月15日	文教厚生(協)	行政視察研修説明
7月25日 ~27日	文教厚生	行政視察研修(長野県下諏訪町・ 南箕輪村・箕輪町)
8月 2日 ~4日	総務産業	行政視察研修(島根県邑南町・ 大田市・鳥取県日南町)
8月22日	議会運営	第3回定例会
9月 2日	本 会 議	9月定例議会開会 上程・委員会付託
9月 2日	議会広報	議会だより編集
9月 4日	議会運営	審議日程の変更
9月 5日	全員協議会	審議日程の変更
9月 6日	本 会 議	一般質問(4名)
9月 7日	本 会 議	一般質問(2名)
9月 8日	文教厚生	付託案件審査
9月 8日	総務産業	付託案件審査
9月 9日	全員協議会	国道3号岡垣バイパス4車線 化整備促進期成会の設立ほか
9月12日	連合審査会	付託案件審査
9月12日	議会運営	追加議案
9月13日	連合審査会	付託案件審査
9月15日	本 会 議	9月定例議会閉会 議決
9月15日	議会広報	議会だより編集

議友会との懇談会

日 時 平成28年9月9日
場 所 第2・3委員会室

全員協議会の中で、元町議会議員で構成する議友会の皆さんと「岡垣町のまちづくり」をテーマに懇談会を開催しました。海老津駅周辺の整備状況や波津漁港の活性化、観光拠点施設「北斗七星」の活用など活発な意見が出されました。大変参考となる意見が多く、今後のまちづくりに生かしていきます。



岡垣町のここはどこ？

扉を開けると、木のぬくもりと木の香りが感じられる施設です。
館長やスタッフも満面の笑みで出迎えてくれる、アットホームな環境です。
さまざまな遊びや世代間交流、ボランティアや伝統文化、自然科学の体験を通じて自ら生きる力を引き出し地域や社会に貢献できる知識と経験を身につける場所であり、岡垣町の子どものための重要な役割を担っています。
この場所からのつぶやき「これからずっとみんなの居場所でありたいなー」。



No. 108の岡垣町の「ここはどこ」の答えは、元松原区にある安楽院でした。

会議録を閲覧してみませんか



- ◆会議録検索システムは、議会本会議記録を議会ホームページで検索閲覧できるシステムです。
- ◆会議録は議会事務局やサンリーアイで閲覧できます。(詳しくは議会事務局まで)

7・8・9月の主な出来事



波津海岸サマーフェスタ



青少年の主張大会



納涼夏まつり(社会福祉協議会)



東部保育所運動会

**どうぞ
傍聴席へ**
次の定例会は
11月25日(金)
開会の予定

編集後記

木原 大輔

今回、9月議会では、私が予定していた一般質問が翌日に延期されました。理由は、台風12号が岡垣町を通過する予報だったからです。早めの対応で前日に議会運営委員会の中で協議し、延期が決定しました。

学校関係も休校が決まっていますでしたが、当日は何事もなく台風は温帯低気圧に変わり通過していきました。

一部では「議会を開けたんじゃないか」「学校に行けたんじゃないか」などの声も耳にしましたが、決して間違っていない早い決断だったと思います。何事もないのが一番ですが、早めの対応こそ災害から身を守る方法だと思います。

備えあれば憂いなし、皆さまのご家庭はいかがですか。

発行責任者

議会広報特別委員会

- | | | | | | | |
|------|------|-----|-----|------|------|------|
| 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 副委員長 | 委員長 | 議長 |
| 木原大輔 | 森山浩二 | 三浦進 | 西美代 | 平山正法 | 神崎宣昭 | 横山貴子 |